資料４

令和3年度岩手県地方協議会重点取組事項PDCAシート（案）

○ 畜産品に係る荷役作業時間の改善

○重点取組事項概要

畜産品関連荷主に令和2年度に実施した「取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」の取組についてアンケートを実施することによりガイドライン浸透度の把握を行い、引き続きガイドラインの浸透を図り手荷役の解消、荷役作業の効率化を進めることで、ドライバーによる荷役作業時間の短縮を目指す。

○KPI

・ドライバーによる荷役作業時間30分以内の割合：70％

○重点取組事項の取組状況

【KPI】

・ガイドライン浸透度について調査したところ、荷主の約7割がガイドラインについて認識をしていたが、荷役作業時間については、昨年度と同様に目標である荷役作業時間30分以内の割合70％は達成されない状況であった。

ドライバーによる荷役作業時間30分以内の割合18％（荷役作業なし：0％、1～30分：18％）
30分～1時間：46％、1～3時間：27％、3時間以上：9％
※調査結果による（調査対象：畜産品関連荷主10者、畜産品関連運送事業者13者）

○課題及び今後の対応の方向性

・「取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」の取組について調査等により、荷役時間及び待機時間について、運送事業者と荷主企業の間に認識のギャップがあることが確認された。目標達成までの第一歩として、運送事業者、荷主企業両者が荷役時間及び待機時間に対する共通認識を持ち、荷役時間及び待機時間を削減することができるよう荷役時間及び待機時間に係るアンケート調査結果を運送事業及び荷主企業へ配布し、運送事業者及び荷主企業の両者に実態を認識してもらうことにより、定期的な話し合いの場で協議を行えるよう導く。

記載担当者名：岩手運輸支局輸送・監査部門